

沖縄小児歯科研究会の活動協力を目的に、11月28日沖縄小児歯科研究会会員を対象の研修会に参加してきました。

これまで全国小児歯科開業医会は、地域支援活動の一環として沖縄の先生方と、協力関係を築いてきました。今回私は沖縄の先生方に、低年齢児のう蝕を減少させるためには、乳児期からの対応が必要不可欠であるとの観点で、話をさせていただきました。

参加して下さった先生方から、低年齢児への対応の必要性につき、賛同頂くことができました。

全国平均と比べても、低年齢児のう蝕が多い沖縄では、思い切った対策の必要性も同時に理解して頂け、近い将来、沖縄では全国に先駆けた活動が展開される予感を、肌で感じて戻ってまいりました。

また、新たに有能な歯科医師の入会希望者もあり、委員会としての責任も果たせたものと思っています。今回の沖縄の活動や、今度の予定などにつきましては、理事の加藤真由美先生から詳しい報告があると思います。